



## トンボ調査は楽しい！ (8月9日、参加者：子供8人、大人19人)

当会では生物多様性の保全を図るため「トンボのすむ街づくり」を進めようとしています。環境指標生物であるトンボ調査を通じて、市内の自然環境の現況や生態系のつながりを知り、自然環境の保全やビオトープの設置等、生物多様性の保全を図ろうとする試みです。

トンボ調査は「誰もが参加でき、地域全体で取り組める」「市内の自然環境の現況を把握できる」「学校や企業緑地等の価値の検証と質的改善が図れる」「環境意識の啓発が図れる」などの利点があります。

### 今年度は試行期間

8月9日にトンボ池、カエル池、平塚市総合公園野鳥園、下水道公社四ノ宮せせらぎの森でトンボ調査を試行的に実施しました。台風接近というあいにくの天気で、せせらぎの森の調査途中で終了となりましたが、捕まえて、マーキングして、放す、一連の作業に大人も子供も熱中しました。

### 地域全体で取り組みたい

生物多様性の保全を図るためには、地域全体で取り組む必要があります。現在、行政や他団体に参加の呼び掛けを行っています。

### 今回の試みでわかったこと

- ① トンボの捕獲は意外に難しいこと (ギンヤンマ、コシアキトンボは捕獲できませんでした)
- ② ブッシュの多いところは捕獲しにくいこと (平塚市総合公園野鳥園) → 双眼鏡で目視
- ③ 調査時間がかかること
- ④ 羽へのマーキングには慣れが必要なこと (BM0001～スタート) ※BM=馬入の略
- ⑤ 最大は子供も、大人も熱中したこと (環境学習活動として最適)



## ワクワク ドキドキ！第4回お魚調べ



(8月24日、参加者：子供9人、大人8人)



回を重ねるごとに捕獲の腕前が上がるお魚調べ。今回もテナガエビやアシシロハゼなどがいっぱい採れました。網を入れると何かが入っているという感じで、ワクワクドキドキの連続でした。

## 夜はワイルドだ！ タベの観察会

(9月13日、参加者：子供17人、大人24人)



水辺の楽校は夜になると雰囲気が一変する。ゴイサギの声が聞こえる頃、鳴く虫の大コンサートが始まる。今年は、チンチロリン、ルルルルなどにまじり、外来種のアオマツムシのリーリーリーが良く響いた。確か昨年まではいなかったと思うのだが、こまったものだ。

そうそう、今回のエコアップ隊から、お父さんとお母さんの自然観察入門講座がスタートした。第一回はカワラケツメイのお勉強。外来植物に追われ数を減らしているが、原っぱの一面で復活した。漢方薬の原料になることなどを知った。(右下)

## 遠征！エコアップ隊 9/27 稲刈りに汗 (参加40名)

田植えに引き続き、稲刈り体験を楽しんだ。  
カヤネズミに会ったり、トカゲやカエルやイナゴを捕まえたり、  
薪で炊いたご飯やカレーライスを食べたり、  
とにかく、楽しいことがてんこ盛りの稲刈りなのであります。



大好評！薪で炊いたご飯とカレーライス



イナゴは食べるのだ



カヤネズミのいる田んぼなのであります。